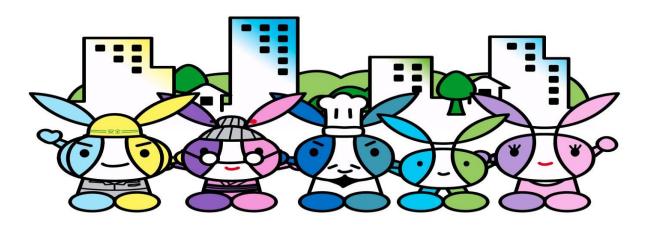




きらぽか計画

~みんなでつくる西区のまちづくり~



2018 (平成30) 年3月

大阪市西区役所

1 はじめに

西区では、2012(平成24)年度から概ね5年間を見据え、自律した自治体型の区政運営の推進に向け、区のめざすべき将来像とその実現に向けて進めていく具体的な取組みとして「西区将来ビジョン」を策定しました。

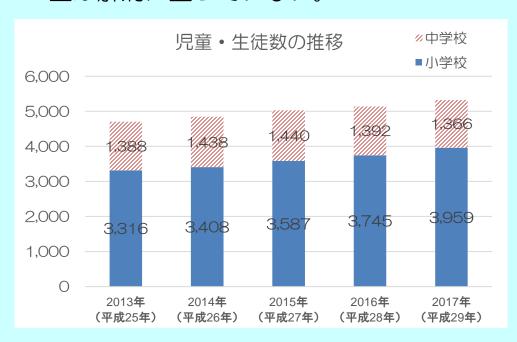
その進捗にあたっては、「市政改革プラン」等全市的な方針を踏まえ、区における施策の選択と集中の全体像を示した「西区運営方針」を毎年度策定し、事業戦略や具体的な取組み等を区民の皆さんに公表するとともに、区政会議において、毎年度「西区運営方針」にかかる計画段階から評価に至るまで適宜ご意見をいただき、区民のご意見やご提案を踏まえた区政運営を進めています。

今般、2018(平成30)年度以降の将来ビジョン策定にあたり、これまでの 取組み実績や成果、区の現状・課題等を踏まえ、2018(平成30)年度以降の区 政運営の基本的な骨子を取りまとめ、「きらぽか計画(素案)~みんなでつくる西 区のまちづくり~」を2017(平成29)年12月に策定し、区政会議やパブリッ クコメントにおいて区民の皆さんのご意見をお伺いし、このたび、「きらぽか計 画~みんなでつくる西区のまちづくり~」として策定しました。

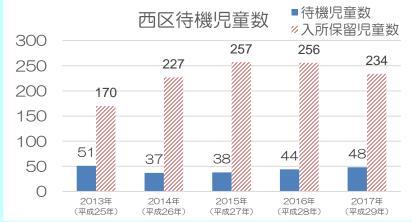


【現状⑤】こどもの増加

- 子育て世帯の転入により、こどもが増加
- 保育所設置の拡充に伴い保育所入所児童数が増加している一方で、保育所入所待機児童が解消に至っていない。







※入所保留児童:保育を必要としており、保育所等に利用 申し込みをしたが、利用調整により利用

が決まらなかった児童

※待機児童:「入所保留児童」から、国の定義に基づき、

転所希望や育児休業中のもの等を除いた児童



4 課 題

- ①人口の増加
- 23マンション世帯・単身世帯の割合の高さ
- ⑧地域活動参加者の状況

- ●マンションの建設ラッシュ等により急激に人口が増加していることを一因として、住民同士のつながりが希薄になり地域コミュニティの衰退が 懸念されている
- ●単身世帯の割合が高く、地域コミュニティへの加入率低下を招いている
- ●地域と区役所が協働して取り組む課題が一層複雑化・多様化している

地域コミュニティの 活性化

⑥⑦後期高齢人口・障がい者の状況

⑨災害対策の必要性

⑩治安・交通事故の状況

- ●防災意識を持ち、相互に連携して災害時に迅速な避難や初期初動対応が 必要
- ●自転車盗難事案が多発している
- ●自転車関連事故の割合が高い
- ●高齢者世帯(65歳以上)のうち単身割合が高いことなどから、日ごろからのつながりが必要

安全・安心で快適な まちづくり

④西区の人口構成

⑤こどもの増加

- ●こども・子育て世代の増加に伴い、保育所入所待機児童の問題が顕在化している
- ●児童・生徒数の増加に伴い、学校施設の狭あい化が進んでいる学校がある

安心して子育てや教育ができる環境づくり



5 重点的に取り組む項目

- これらの課題をふまえ、次の2つの基本方針を策定
- 基本方針のもと、2018(平成30)年度から概ね5年間で重点的に取り組む項目を策定

基本方針1 安全で安心なまちづくりに向けたコミュニティカの向上

地域コミュニティの活性化

人と人のつながり づくりの活動支援

地域活動の 活性化 多様な活動主体の ネットワークづくり

安全・安心で快適なまちづくり

災害に強いまちづくり

安全で快適な居住環境づくり

誰もが自分らしく 生き生きと暮らせる まちづくり

基本方針2 こども・子育て施策の充実

安心して子育てや教育が できる環境づくり

子育て環境の充実

学校教育支援

区長の権限・責任の拡充と区民参画のさらなる推進

ニア・イズ・ベターを徹底 するための区役所づくり 区民の声が反映され る仕組みづくり

さらなる区民サービスの向上

効率的な 区行政の推進



6 施策展開の方向性

基本方針2 こども・子育て施策の充実

(1) 安心して子育てや教育ができる環境づくり

②学校教育支援

【めざす状態】

学校教育支援施策の立案段階から学校長及び保護者・地域住民等と意見交換を行い、学校・地域の実情に応じた施策・事業を持続的に取り組んでいる状態



めざす状態を 数値化した指標 ・区が、学校・地域の実情に応じた学校教育支援を行っていると感じている学校及び西区教育会議委員の割合: 2022(令和4)年度まで毎年100%維持

【取組みの方向性】

• 教育行政連絡会や教育会議等で学校や地域の支援ニーズを把握し、区長自由経費と校長経営戦略 予算(区担当教育次長枠予算)を活用し、西区の実情に応じた学校教育支援事業を展開する。



西区の現状・課題分析を踏まえ、2つの基本方針のもと重点的に取り組む項目をまとめました。

重点的に取り組む中で、それぞれのめざす状態を表し、区役所として取り組むべき方向性を打ち出しています。

今後、この進捗にあたっては、「市政改革プラン」等全市的な方針を踏まえ、「西区運営方針」を毎年度策定し、事業戦略や具体的な取組み等を区民の皆さんに公表してまいります。

また、区民ニーズや地域課題の変化に迅速に対応していくため、平成31年度までの実績と成果を踏まえ、中間振返りを行う予定です。

「きらぽか計画」を円滑に推進していくために、関係機関と連携を図り 着実に取組みを進めてまいりますので、引続き、区民の皆さんのご支援・ ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

西区役所 総務課 事業調整担当

電話:06-6532-9978



目標の達成状況及び振り返り

②学校教育支援	目標値	H30	R元	R2	R3
・区が、学校・地域の実情に応じた学校教育支援 を行なっていると感じている学校及び西区教育 会議委員の割合	100%	95.2%	87.5%	89.5%	100.0%

<達成できたこと>

- ○各会議等での学校長や保護者・地域住民との意見交換
- ・学校教育における支援ニーズを把握し、事業実施手法等を適宜見直し
- ・学校に対する区役所の支援について、学校に応じた支援を行っていると感じる学校が100%(令和3年度)

(例)

- ①児童生徒急増に伴う、学校施設の狭隘化への対策について、教育環境課題検討部会を開催し、教育委員会と共に保護者地域と意見交換したうえで、市としての方針を決めた。
- ②H30年9月の教育行政連絡会において、中学校長から「英検受験料助成」にかかる要望があり、翌年度から助成を開始した。
- ③H31年度まで「水泳」のみ実施対象としていた「小学校」「学力・体力の向上」に少しでも寄与していく。 への体育授業への講師派遣」事業について、体操など複 数種目実施にかかる要望があったため、令和2年度から 体操や体幹トレーニングを追加した。

<残された課題・対策>

- ○学校施設の狭隘化対策
- ・分校設置や校舎増築等で一定の解決策は講じられつつあるが、対策に伴う制度変更(学校選択制や指定外就学制度等) について整理が必要。
- ・児童生徒の増加傾向は続くことから、区役所として支援できることを検討
- ○児童生徒が減少している地域への対策
- ・ 学校再編等の対策
- ○学力・体力向上支援にかかる各学校のニーズ把握
- ・現在、「体育授業への講師派遣」、「英検受験料助成」、「夏期講習」を実施
- ・各学校のニーズをとらまえ、ニーズに応えることにより、 「学力・体力の向上」に少しでも寄与していく。



重点的に取り組む項目

次期きらぽか計画骨子

誰もが誇りに思える西区

基本方針1

安全で安心なまちづくりに向けたコミュニティカの向

地域コミュニティの活性化

人と人のつながりづくりの活動支援

地域活動の活性化 (町会加入促進支援)

多様な活動主体の ネットワークづくり 安全・安心で快適な まちづくり

災害に強い まちづくり

安全で快適な 居住環境づくり

誰もが自分らしく 生き生きと暮らせる まちづくり 基本方針2

こども・子育て施策の充実

安心して子育てや教育が できる環境づくり

子育て環境の充 実

学校教育支援

区長の権限・責任の拡充と区民参画のさらなる推進

ニア・イズ・ベターを徹底 するための区役所づくり 区民の声が反映され る仕組みづくり

窓口改革

効率的な 区行政の推進

ICTの活用